

平成26年度 県立宮古高等学校学校評価(学校評価まとめ)

【学校の教育目標】

憲法並びに教育基本法の定めに従い、民主社会の形成者にふさわしい知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。

【本年度の努力目標】

- (1) 魅力ある学校・信頼される学校づくりに努める。
- (2) 学力向上に努める。
- (3) 体力の向上に努める。
- (4) 積極的な生徒指導を実践する。
- (5) 進路指導を充実する。
- (6) 教育相談を積極的に推進する。
- (7) 図書、IT関連機器、視聴覚教材の充実とその利用に努める。
- (8) 職員研修を積極的に推進する。
- (9) 保健・安全教育を推進する。
- (10) 美しい学園づくりに努める。
- (11) 施設・設備の充実とその効果的運用に努める。
- (12) 国際化時代に対応する教育を推進する。
- (13) 地域文化の理解と家庭や地域との連携を深める。

【平成25年度の成果と課題】

成果
 ①難関国公立・私大合格(筑波、静岡、高知、宮崎、順天堂、早稲田) ②全国ウェイトリフティング大会女子個人準優勝 ③全国高校総合文化祭 美術工芸部門出場
 ④NHK杯全国放送コンテスト出場 ⑤英検2級合格者増(24名)
 課題
 ①学力の向上(国公立大合格増) ②カウンセリングを生かした生徒支援の充実 ③校風及び校訓の推進

【評価】 自己評価の欄(ABCD)に○を記入し、評価を踏まえて課題を書いてください。

A:達成できた(80%以上) B:ほぼ達成した(80%~50%程度) C:あまり達成できなかった(50%~30%程度) D:達成できない(30%以下)

評価項目	具体的目標	具体的方策	自己評価	平成26年度課題等	学校関係者評価	学校関係者からの要望等
(1)教育目標	○自己教育力の育成	① 自ら学ぶ態度と自己実現の能力を育てる。	B	○教育目標実現に向けて概ね取り組めているが、今後とも知・徳・体バランスのとれた教育を推進していきたい。 ○校舎改築は終了したが、校内緑化・外構についても学校全体で連携し整備を推進していきたい。	A	○校長の立てた目標を職員がどれだけ達成できたか。結果のどのようなきめ細かな取り組みを続けて欲しい。 ○生徒の様子は、先輩として誇りしかなかった。褒めていたことを生徒にも伝えてほしい。 ○宮古高校の伝統を生徒達に伝えて欲しい。
	○知・徳・体のバランスのとれた教育	② 毎日の授業を大切にし、家庭学習、部活動を奨励する。	B			
	○緑豊かな教育環境の整備	③ 校舎改築とともに緑豊かな環境を整備し、心豊かな生徒を育成する。	B			
	○アイデンティティと国際性	④ 郷土の歴史・文化を誇りにし、国際協調の精神を育てる。	B			
(2)教育計画	○教育目標に沿った計画・立案を行う。	① 教育課程の整備、年間行事計画の策定・実施。	B	○新教育課程の実施に伴った検討・整備を継続する。	A	○計画通り実施されており体育祭等、素晴らしい行事が行われていた。
(3)教科・科目指導	○学ぶ楽しさを実感させ、学力の向上を図る。	① 説明、板書、発問等、各教諭の授業の充実	B	○家庭学習の習慣化を更に図り、予習復習の奨励を推進する。 ○教科研修等を通して職員の指導力向上を図り、今後も生徒の学力向上に努めたい。 ○英検・漢検・教検・ワープロ検定等を推奨していく。	A	○英検の2級合格は20名以上を目指して欲しい。 ○家庭学習が足りない状況にあるが、中学との連携で改善を張る必要がある。 ○高校3年間で得るべき力がある。そのためには模試などで実力をつけていく必要がある。
		② 基礎・基本の確実な定着	B			
		③ 諸講座を実施し、学習の応用・発展を図る。	B			
		④ 個に応じた指導	B			
		⑤ 家庭学習の習慣化	B			
		⑥ 英語検定の奨励	B			
(4)総合的な学習の時間	○問題解決能力・国際理解の態度を育て、郷土に対する理解を深める。	① 全職員による取り組み	B	○生徒が体験的学習を通して諸交流事業を主体的に参加し、進路決定に役立っている。 ○さらに総合学習についての検討整備を進める。	A	○台湾姉妹校交流やグローバルリーダーなど国際交流に積極的に取り組んでいる。
		② 姉妹校との交流	A			
		③ 郷土学習の推進	B			
		④ 地域との連携	B			
(5)特別活動	○自主性・自立性を確立し、豊かな心を育成する。	① 学級経営の充実	B	○生徒会活動の取組等活性化している。 ○文武両道の校風の下、100%部活動加入・マナー向上を旨とした取組は良好である。 ○全県・九州大会出場を目標とする部活が増え、活性化図れた。	A	○部活動の活性化が図られており、文武両道を実践は素晴らしい。
		② 生徒会活動の活性化	B			
		③ 部活動の活性化	A			
(6)生徒指導	○基本的な生活習慣の確立 ○交通安全教育の推進 ○問題行動の未然防止 ○人権教育の推進	① 勤怠指導・マナー指導・身なり指導を徹底し、挨拶を奨励する。	B	○マナー向上・身なり・勤怠指導等の取組により生徒の生活面の意識高揚が図られている。更なる改善へ向けに取り組んでいく。	A	○ほとんど問題ない。身なり・挨拶などマナー向上が図られており素晴らしい。 ○現在は「キレる生徒」、「いきなり型」への対処が求められる。家庭等と連携を取り、集団生活の中で規律ある指導が重要となる。 ○ラインなどでのネットいじめに対した未然防止教育が必要。
		② 生命の大切さ・道路交通法の遵守の指導を徹底する。	B			
		③ 学年ごとに生徒指導集会を毎月もって指導する。	B			
		④ いじめ防止の指導を徹底し、カウンセリングを持って生徒指導にあたる。	B			
(7)進路指導	○進路の早期決定 ○進路決定率を高める ○国公立大学への合格者数を増加させる ○進路意識の高揚	① 進路調査を活用し、三者面談、個別面談を実施する。	B	○計画通り進路指導に取り組めたが、今後もより効果的な企画・立案を図り進路指導の充実に努めたい。	A	○進路指導について、非常に頑張っていることがよくわかる。 ○推薦入学も大事に取り組んで欲しい。 ○奨学金など保護者が十分に理解できていない分野の情報提供に努めて欲しい。
		② 講座、進路相談を充実させ、対外模試を実施する。	B			
		③ 進路検討会を持ち、個に応じた指導を充実させる。	B			
		④ 進路講演会や各種講座・進路の保護者説明会を実施する。	B			
(8)教育相談	○教育相談を積極的に推進する。	① 個に応じた支援体制の充実を図る。	B	○学級担任やSCとの連携を密にすることで個々の生徒の多様な問題に対応することができた。	A	○スクールカウンセラーとの連携が十分に図られている。 ○就職する生徒へのケアを心がけてほしい。
		② スクールカウンセラー等外部機関との連携を図る。	B			
(9)健康・安全指導	○健康・安全で幸福な生活のあり方を考える	① 個に応じた健康相談の充実を図る。	B	○保健情報の発信、生徒の安全管理は概ねできている。さらに健康教育、施設の安全管理面の強化へ取り組んでいく。	A	○事故等も無く、生徒の安全確保など万全である。
		② 生徒の健康状態を把握し、保健便りで情報を発信する。	B			
		③ 生徒の安全確保及び施設の安全管理に努める。	B			
(10)環境美化	○緑あふれる、美しい学園づくりに努める	① 教室を中心に学校内の美化に努める。	B	○緑化についてPTAの協力、市からの苗の配布などの協力の下、活性化している。	A	○校内に草花が咲くなど可能な限りの範囲で校内緑化・美化に努めている。 ○緑化運動を推進し、緑ある学習環境を整えてほしい。
		② 全体清掃を徹底する。	B			
		③ 学校周辺の清掃活動	B			
(11)研究・研修	○職員一人一人の教育的実践力及び学校の総合的な教育力を高める	① 外部講師を招聘した職員研修を推進する。	B	○職員の資質向上に向けて各種研修会に参加するなど概ね達成できているが、次年度も研修の時期、内容等適切な実施を図り、職員研修の充実に努める。	A	○教員のモラル向上を図り、切磋琢磨してほしい。 ○さらに授業力向上を目指し、公開授業などを通じ授業研究を深めて欲しい。
		② 校内研修の充実を図る。	A			
		③ 授業研究の継続実施など授業改善に努める。	B			
(12)家庭・地域との連携	○開かれた学校づくり	① PTA活動の活性化を図る。	B	○PTA総会への80%の参加など多くの保護者が活動に関わってきており、さらにPTA相互の連携を図ってほしい。 ○本校の教育活動を公開する手段として、これからもHPを活用し、情報公開に努めたい。	A	○使途激励会など、PTA活動が活性化しており素晴らしい。 ○新聞記事やホームページなど情報がよく開示されている。
		② 授業参観・三者面談への活性化を図る。	B			
		③ 学校のHP等をおとして生徒の活躍や学校の情報を公開し、地域に学校の理解を求めるとにより連携を図る。	B			